

1 国語に関する調査

【特長】

- 目的や意図に応じて、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることができるかどうかをみる問題が、よくできていた。読書などを通じて文章に触れる活動を実践してきた成果が表れている。
- 行書の特徴を踏まえた書き方について、多くの生徒がよくできていた。

【課題】

- 文章と図とを結び付け、その関係を踏まえて内容を解釈することをみる問題について、課題が見られた。図に書かれた情報を正確に読み取り、文章と結び付けて読み取る力を養わせたい。
- 目的に応じて必要な情報に着目して要約する問題について、課題が見られた。問われている内容や、それに対して根拠を明確にした答え方を身に付けさせたい。また、ICT機器を活用して文章を作成し、推敲していく能力も身に付けさせたい。

2 数学に関する調査

【特長】

- 正の数と負の数の計算問題について、多くの生徒がよくできていた。
- 二つのグラフにおけるy軸との交点について、事象に即して解釈することができるかどうかをみる問題が、よくできていた。問題文を間違いなく読み、与えられた事象とグラフを正確に把握し、判断する力が付いていると捉えている。

【課題】

- 事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができるかどうかをみる問題について、課題が見られた。問題解決の方法を柔軟に考え、説明する力を付けていきたい。
- 筋道を立てて考え、証明することができるかどうかをみる問題について、課題が見られた。筋道を立てて考え、文章などで表現して証明することの大切さを引き続き説いていきたい。

3 生徒質問紙の結果より

【特長】

- 総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組むことができている生徒が多い。
- 学校の授業時間以外に、一日当たり2時間以上勉強している生徒の割合が高い。学校が休みの日も2時間以上勉強している生徒も比較的多いことから、学習習慣が身に付いていると考える。

【課題】

- 「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか」という質問に消極的な回答をする生徒の割合が高い。地域行事の際にボランティアとして参加することを積極的に促すことにより、地域の一員として地域を大切にすることを育てたい。
- 「自分には、よいところがあると思いますか」という質問に消極的な回答をする生徒の割合が高い。先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う生徒の割合も低いことから、教育活動の中で一人一人のよいところを積極的に認め、自己肯定感を高める指導を心がけたい。

授業・学校生活の充実に向けた取組

- 授業で分からなかったことについて分かるまで教えてくれていると感じている生徒の割合が比較的低い。単元の途中や終わりに振り返りを行い、学習状況を把握し個に応じた個別指導を行うとともに、生徒が質問しやすい機会を積極的に設けていく。
- いじめはどんな理由があってもいけないという意識を確実なものとするように今後も計画的・継続的に指導し、様々な教育活動において、人権感覚を育てていく。
- 充実した学校生活を過ごすことができるよう、生徒会活動の活性化や学校行事等の一層の工夫改善を図り、学校生活を楽しいと思う生徒を育成していく。
- 「地域とともにある学校」づくりに向け、学校運営協議会を活性化させ、地域の人材活用など地域の力を効果的に学校教育活動に活かしていきたい。

ご家庭で取り組んでいただきたいこと・地域の方に知っておいていただきたいこと

- スマートフォンなどの使用上のルールやマナーについては、学校においても継続的に指導をしておりますが、ご家庭においてもご指導いただくとともに、ご家庭でのルールの確認を引き続き行っていただくようお願いします。
- 地域や社会をよくするために何かしたい、貢献したいという心を育むために、これからも生徒が地域で活躍できる行事やボランティア活動の場の設定をお願いします。
- 学校創立50周年記念式典を通して、地域・家庭・学校の結びつきの深さとその大切さを再認識しています。これからも、子どもたちのために、ご理解とご協力をお願いします。